JA Takatsuki Public Relations Magazine

ふれあい

2025
11
No.608



皇帝ダリア

JAたかつき

組合員が集い協同の成果を確認
令和7年度 組合員大会 開催




中野 智之
JA大阪中央会参事


山田 紘平
島本町長


濱田 剛史
高槻市長


森本　茂
代表理事組合長

10月22日、23日の2日間にわたり、高槻城公園芸術文化劇場トリシマホールで令和7年度組合員大会を開きました。

今大会は地区を4ブロックに分け開催。2日間合わせて約4,600人の組合員が参加し、会場は大盛況となりました。

開会にあたり森本茂組合長は「本大会は、JAたかつきの昨年1年間の各事業、協同活動の経過とその成果を組合員の皆さまに報告するものである。皆さま方の平素の利用のおかげでこのような組合員大会を今年度も開催することができた。また、本年度は新たな中期計画第10次総合経営計画の初年度である。JAたかつきのめざす基本方向を踏まえ、人と人とのつながりを大切にいつまでも愛されるJAをめざす。今後とも皆さまの力強いご支援とご協力、そして各事業への利用をお願いしたい」旨あいさつしました。

続いてスクリーンで令和6年度の事業経過報告を上映。協同の成果を確認しました。

第二部のアトラクションでは、『中村美律子&香西かおりスペシャルコンサート』が開演。『河内おとこ節』や『無言坂』など数々の名曲に会場は大盛り上がりでした。


大盛況の会場


香西かおりさん


中村美律子さん


五領支店：市川滉己さん（右）
大冠支店：柳生尚範さん（左）


阿武野支店：髙橋　慧さん（右）
島 本 支 店：大津直人さん（左）


清水支店：和田　享さん（右）
磐手支店：楠田直人さん（左）


如是支店：西村駿人さん（右）
富田支店：田邊飛雄馬さん（左）



No農FOOD, No農LIFE!

戸田 清治さん 智子さん



▲農風館野見町店に並ぶ戸田さんの野菜



今回紹介するのは、清水地区で就農した戸田清治さん(62)と智子さん(62)ご夫妻。就農を始めたきっかけや今後の夢についてお聞きしました。

農業を始めたきっかけ

コロナ禍の会社に出社できない時期に高槻で貸し農園を借りたモノづくりが好きな智子さん。探求熱心な夫の清治さんも野菜づくりの魅力にはまってしまい、脱サラをして本格的に就農することを決意しました。

就農までの道のり

農業を始めるにあたり、休日を利用し、京都の社会人向け週末有機農業学校・『スモールファーマーズカレッジ』で農業の勉強を始めました。1年間勉強したあと、仕事を辞め、高槻市の農地を借りました。その農地はもともと田んぼだった土地で、稲の株が残る田んぼをトラクターを使わず耕うん機だけで耕しました。周囲からムリ！ムリ！と言われても農業への熱い情熱がパワーとなり畑づくりに成功しました。



▲丹精込めて育てたにんじん



▲ドルチェリモーネを持つ智子さん

就農してから

とにかくおいしい野菜をお届けしたいという想いで、自分で食べてみて本当においしいと感じた品種の野菜を種からつくっています。日々おいしい野菜を探求し、現在では1.5反の畑で40種70品目の野菜を栽培しています。ドルチェリモーネ(カリフラワー)、上高地(キュウリ)、真黒茄子(ナス)、サトウくん(キャベツ)、みずさわ(レタス)等、野菜には全部名前がついています。この多種多様な野菜を提供するため毎日栽培計画を立てています。

化学肥料はもちろん牛糞や鶏糞などの動物性資材を一切使わず、米ぬか、油かすを中心とした有機肥料のみで種から育てるこだわりを持ち、自然の猛威や、虫や動物と戦いながら様々な種類の安全な野菜づくりに挑戦しています。

農業をやっていて楽しいこと

野菜づくりは仕事であり趣味と言うほど、子育てのように野菜が育っていくさまを見ていることが楽しくて仕方がないご夫妻は、愛情を込めて日々野菜づくりに励んでいます。

これからの目標や夢

圃場をもっと広くして、生産量を増やし、安全な作物で地域貢献を図り、有機栽培による野菜の美味しさを伝えること、環境への負荷を抑えつつ、持続可能な農業が、この緑豊かな高槻市に根付くような未来のための野菜作りが出来ればと思っています。と壮大な目標を語ってくださいました！

戸田さん野菜の購入場所

現在、戸田さんの野菜は農産物直売所・農風館野見町店にて販売しています。「味が力強い！」とウワサの戸田さん自慢のおいしい野菜をぜひ農風館でお買い求めください！



高槻市農地等利用最適化推進施策等に関する意見書を市長に提出!!

―高槻市農業委員会―

高槻市農業委員会（森本茂会長）は、10月2日、「農業委員会等に関する法律」第38条に基づき「令和8年度高槻市農地等利用最適化推進施策等に関する意見」を高槻市長に提出しました。その要旨は次のとおりです。

1 都市農業振興施策全般について

①農業経営継続のための支援

相続税納税猶予制度の維持、肥料等の価格高騰に対する継続的な支援、燃料の購入しやすい仕組みづくり、「農業用機械マッチングサービス」など小規模兼業農家にあった仕組み構築を検討されたい。



②優良な担い手の確保や受託組織への支援

担い手の高齢化や後継者不足は喫緊の課題であり、今後も遊休農地の増加が予想される。子ども世代のUターンや他市町村からの定住による農業従事希望者を確保する等、優良な担い手の育成が重要。受託組織に対するさらなる支援・拡充を図っていただきたい。

③農地の適正管理

遊休農地は特に他地区からの耕作者や相続で取得した所有者等の農地の管理が不十分で、隣接農地や住宅への影響が出ているため、所有者に対する強い指導と遊休農地対策の強化を検討されたい。

④高温対策品種の開発

毎年記録を塗り替える猛暑に対応するため、本市でも水稲の高温耐性を持つ品種の早急な導入を関係機関に働きかけられたい。また気温が高いことで肥料の分解が早く、従来は不要だった追肥が必要となっているため、高温対策品種の導入まで支援を実施されたい。

⑤小規模兼業農家に対する営農活動支援の強化

小規模兼業農家が抱える問題について、地区実行組合長会との意見交換を行い、営農を継続していくために必要な農業用機械の経費に対する支援など各種補助金制度の充実を図られたい。

2 地産地消や食育啓発、主産地育成事業の推進について

①学校学習田支援事業

学校学習田は次代を担う子供たちに対し、食の大切さに加え、地域の良好な都市環境の形成や維持等、農地が多面的な機能を果たしていることを教える貴重な機会となっている。事業継続に向け、さらなる財政的支援や協力を求めたい。

②学校給食における地産地消の推進

学校給食において地域で作られた農産物を提供することは、次代を担う子どもたちに日本の良き食文化や食生活を守り伝えるという点で大きな役割を果たしている。地域農業の活性化のため、すべての学校給食に地元高槻産農産物の特別枠を設定し、生産価格に見合う買取り価格が実現されるよう支援されたい。また、米飯給食において、高槻産米の本来の味を子どもたちに教えるためにも、麦との混合による提供の見直しを検討されたい。

3 農地の保全に向けた農業施設の整備について

①農道や農業用水路等の整備及び管理

農道や農業用水路等は、都市農業の維持発展に欠かすことのできない重要な基盤であるが、老朽化等で利用に支障をきたしている。耕作条件を改善し、農作業を効率的・安全に行っていくため、農道・農業用水路の整備・改良・補修に係る事業予算の拡大・拡充を計画的かつ継続的に実施されたい。

②農業基盤保全事業の利用推進

農業基盤保全事業の一般土地改良事業における畦畔等改良整備に係る、一事業200万円の限度額拡大や棚田等の農地にも当該補助金の活用ができるよう、受益面積10a以上及び直高0.9m以上の畦畔等工事の利用要件を見直し、地域の実情に沿った制度変更を実施されたい。

③農業用水の確保対策

農業用水が不足する地区において用水を確保するため複数の井戸の新設が必要である。また、各地に点在するため池の整備・改修は防災対策としても意義があるため市による整備、あるいは費用負担を考慮されたい。

④小規模農地の集約化事業について

効率的・経済的な農業を営むため小規模な耕地整理が実施できるような制度を創設されたい。

4 農空間を取り巻く良好な環境の形成について

①有害鳥獣対策

国において広域鳥獣被害総合対策事業を実施しているものの、有害鳥獣による農作物の被害は後を絶たない。農業者の耕作意欲を低下させないよう、国に対し、本事業の継続実施と諸予算の増額を強く働きかけるとともに、市においても地域主導による対策を実現されたい。

②ジャンボタニシの防除対策

市内全域の水田で年々被害が拡大しており、駆除対策の情報提供と防除薬剤購入費の補助の継続及び拡充されたい。防除薬剤の範囲の拡大及び一斉駆除の取組について費用負担を検討されたい。

③不法投棄への対策

「高槻市まちの美化を推進する条例」を改正し農地や山林等も含め投棄を規制し、悪質な違反者には罰則を設ける等実効ある運用を検討されたい。

なるほど営農

水稲

作況調査（10月中旬現在）

キヌヒカリは8月29日から、ヒノヒカリは9月26日からライスセンターを稼働し、生モミの受け入れを行ないましたが、今年度も山間部では斑点米カメムシ類の被害が多く、平坦部でも、被害が散見されました。

また、平坦部では紋枯病の被害が多く見られました。発病初期は株元に病斑が現れるので、発見が遅れ、上位葉まで侵されてしまい、倒伏している圃場が見られました。被害にあったコメは充実不足や白未熟粒が増加するといわれています。

対策として、

①斑点米カメムシ類

発生源となるイネ科雑草地を除草、管理すればカメムシ類の生息密度の低下が図られます。ただし、出穂期ころの畦畔の除草は、水田へのカメムシ侵入を助長する可能性があるので避けましょう。



カメムシ類による斑点米

薬剤防除は、**スタークル粒剤**等を出穂後7～10日に散布してください。散布後、状況に応じて追加防除を検討してください。

②紋枯病

前年の被害株や畦畔などの雑草に菌核が形成され、越冬したものが第1伝染源となり、代かき・田植時に水面に浮上し、イネに付着し感染しますので、代かき後、浮遊している菌核を植物残渣（稲わら等）と共に除去することで発病を軽減できます。



水際部で初期発生がみられたら、なるべく早く、出穂前までに防除**（モンガリット粒剤）**するのが効果的です。

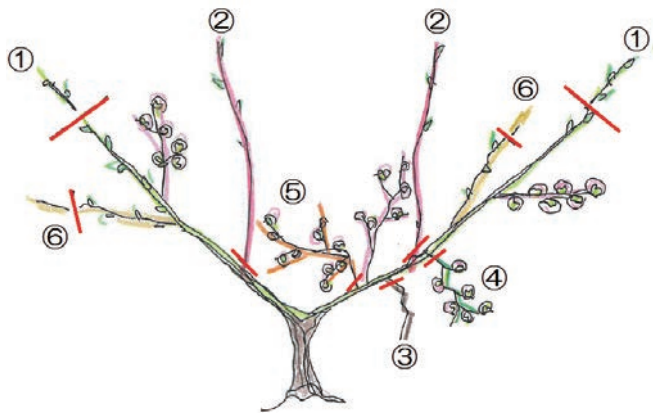
前年発生田では育苗箱施用薬剤**（フルスロットル箱粒剤）**も有効です。

果樹

ウメの整枝・剪定

ウメは他の果樹に比べて開花が早く、剪定の適期は11～12月の休眠中に行います。

枯れ枝や徒長枝、内向枝、下垂枝などを剪定します。また、徒長枝のうち、少し短く弱めの枝（予備枝）は、先端を軽く切り返します。



①主枝・亜主枝の先端は、葉芽・外芽で切り返し。

②徒長枝③枯れ枝④下垂枝⑤内向枝はもとから剪定。

⑥予備枝は軽く切り返し、翌年の花芽を期待。

果樹

カイガラムシの防除

春から秋にかけて、果樹の葉や茎、果実が黒くなる『すす病』が発生します。気温が高めで多湿の環境で多発します。そのほか、日当たりや風通しが悪い場所でも発症しやすくなります。



すす病は、カイガラムシ等の排泄物を栄養源として糸状菌（カビ）が繁殖することで発生しますので、これらの早期防除が重要です。

◆防除方法

厳寒期を避け、できるだけ12月下旬の暖かい日を選んで**機械油乳剤**を散布し、カイガラムシを油の膜に閉じ込め窒息させます。（適用作物によって希釈倍率が異なりますので、ラベルをよく読み、使用してください。）

（文責：営農指導課　甲田真二）

営農情報

ＪＡたかつきホームページにも営農情報を掲載しています。こちらもご覧ください。

昔ながらの稲刈りで、准組合員モニターが農家の苦労を体験

10月16日、第3回准組合員モニターミーティングを開き、モニター12名が参加しました。

この日は農業体験が行われ、6月にモニターが田植えをし、たわわに実った稲を手刈りで収穫。はじめて鎌を握る方や、久しぶりに稲刈りする方など様々。職員のサポートのもと楽しそうに笑顔で稲を刈りました。

稲刈り体験のほかにはライスセンターの見学も行われ、管内から集められた生籾がセンターの機械を通り乾燥、籾摺り、選別が行われ玄米となるまでの工程を学びました。



▲ライスセンターの見学をする参加者



▲楽しく稲を刈る参加者

最後には今年の新米の試食会が行われ、販売前のJAたかつき『ひのひかり』でにぎったおにぎりをいち早く味わいました。

参加者は「6月に自分達で植えた苗がたくさんの稲穂をつけている稲を見た時はとてもうれしかった。稲刈りや施設の見学など貴重な経験ができた」と話しました。

デイサービス入所者の作品を展示

島本支店は10月6日、一支店一協同活動の一環で管内デイサービス入所者の作品を支店ロビーに展示し、支店を訪れる組合員や地域住民らに笑顔を与えました。これは、支店が地域に根ざし地域とのつながりを深め、ふれあいの場となることをめざし企画。

この日は支店職員と入所者がおしゃべりを交えながら一緒に作品を飾り付けました。

同支店西村雅郎支店長は「今後も支店と組合員、地域との繋がりやふれあいを大切にしていきたい」と話しました。



▲デイサービス入所者と一緒に作品を展示する職員

地元中学生が地域農業の諸課題を考える

三箇牧支店は10月9日、高槻市立第七中学校3年生の職業インタビューを受け入れました。

これは、同中学校のキャリア教育の一環として地域の課題解決に取り組む人や団体等との出会いを通じ、その課題や解決策を探求するため行なわれています。

生徒たちはJA職員に「農業の後継者問題」や「近年の異常気象による農業への影響」など地域農業の諸課題について質問し、職員は、生徒たちの質問にわかりやすく答え、子どもたちが考える課題研究を後押ししました。



▲中学生の質問に答える職員

ふれあいNEWS

地域と協力し、児童ら稲刈りを体験

郡家小学校5年生児童は10月15日、学校学習田活動として、地元農家や高槻市、当JAの協力のもと稲刈りを行いました。

この田んぼで児童らは6月に田植えを行い、9月に案山子たてを行いました。この日収穫を迎え、児童らは地元農家の方から、鎌の使い方の注意点や刈り方のコツを聞き慣れない手つきで、一列に並び稲を刈りました。

刈り取りを終えた児童からは、「最初は鎌の使い方が難しかったけど、慣れてきたら上手に刈れて楽しかった」などの声が聞かれました。



▲コツを聞きながら稲を刈る児童

新たな決意を胸に　令和8年度新採用職員内定式



▲組合長の激励を受ける内定者

10月1日、本店6階役員会議室で令和8年度入組予定の新採用職員内定式を行い、内定者4人が参加しました。

森本茂組合長は一人ひとりに内定証書手渡し、「JAたかつきは現在様々な諸課題に取り組みながら、農業と地域を繋ぐ役割を発揮し、地域になくてはならない協同組合組織として、JAたかつきのブランド確立に向け役職員一同邁進しています。皆さんもその一員として頑張ってほしい」と激励しました。

その後内定者は、先輩職員と懇談し日々の業務に関する説明を受け仕事へのイメージを膨らませました。

これからの暮らしをもっと元気に　しあわせ健康教室

樫田地区女性会は10月3日、樫田支店においてJA共済連の地域貢献活動の一環として『JA共済しあわせ健康教室』を開催しました。

講師は農協共済別府リハビリテーションセンターの理学療法士柏原健作氏が務め、介護保険制度の基礎知識やフレイル・認知症予防について、資料やスライドを用いてわかりやすく解説しました。また、座ったままでできる介護予防体操を参加者全員で実践。参加者からは「限られた時間の中でも。日常生活に役立つことを学べた」「元気に暮らすためのヒントになった」との声が聞かれました。



生活を彩るフラワーアレンジメントに挑戦



▲**磐手地区女性会**は10月3日、安満公民館にてフラワーアレンジメントを実施し、役員10名が参加しました。美しく仕上げることができました。

自然災害に備え　防災の知識を学習



▲**富田地区女性会**は10月7日、富田支店にて防災講習会を開き、会員18名が参加しました。自然災害に備えて自分でできる防災について学びました。

京都のファーマーズマーケットを視察



▲**阿武野地区実行組合長会**は10月29日、京都府方面への視察研修を実施し、会員12名が参加しました。直売所「たわわ朝霧」に立ち寄り視察しました。

女性会と友の会がいっしょに日帰り旅行



▲**阿武野地区女性会、ハイキング友の会**は10月17日、和歌山県方面へのハイキングを実施し、会員25名が参加しました。合同の日帰りハイキングを楽しみました。

各地区でゴルフコンペ開催！

如是地区



優勝　髙木　章博さん
準優勝　阪口　郁亨さん
三位　岡田　隆男さん

●実施日　10月17日
●場　所　ベニーC.C
●参加者　13名

島本地区



優勝　下口　利治さん
準優勝　松井四郎次さん
三位　中井　治さん

●実施日　10月15日
●場　所　新大阪G.C
●参加者　29名

磐手地区



優勝　加賀山　健さん
準優勝　上田　洋造さん
三位　髙田　浩平さん

●実施日　10月14日
●場　所　新大阪G.C
●参加者　19名

樫田地区



優勝　平野　英明さん
準優勝　大西　正治さん
三位　清水　博文さん

●実施日　10月11日
●場　所　高槻C.C
●参加者　8名

ご契約者さまへ

令和8年1月実施の

自動車共済仕組改定等のお知らせ

日常生活事故弁護士費用保障特約を新設

この特約は日常生活に起因する事故によって被共済者の身体が害されたり、被共済者の財物が破損されたこと等について、被共済者が賠償義務者に法律上の損害賠償請求を行う場合に、賠償義務者との交渉を弁護士に委任する際等に必要となる弁護士費用等や法律相談費用を保障します。

共済期間の初日が
令和8年1月1日以降のご契約から実施です。

詳しくはお近くの本・支店へお問い合わせください。

北海道ミニ物産展開催!!

期　間　11月27日㈭～12月14日㈰
営業時間　10時～16時30分（月曜定休日）
場　所　農産物直売所 農風館野見町店 高槻市野見町4-1


オホーツク流氷カリー


ジャンボいかめし（コーンバター醤油）


札幌スープカレーチキン


デミグラスソースハンバーグシチュー

詳しくは、営農経済部 経済推進課（676-3279）まで

資産管理情報

未支給年金について

今回は、未支給年金についてです。

年金受給中にお亡くなりになられた場合には、死亡時点でまだ受け取っていない未支給年金が発生します。年金には、公的年金と私的年金があり年金の種類によって死亡後の手続きや税金の課税関係が異なりますのでご注意ください。

（1）公的年金の場合

公的年金とは、国民年金や厚生年金のことを言います。

公的年金の未支給年金は、一定の要件に該当する遺族が受け取ることができ、年金事務所で請求手続きをします。未支給年金は、相続財産に該当しないため、相続税の課税対象とはなりませんが、受け取られた遺族の一時所得に該当するため所得税・住民税の課税対象になります。一時所得は、以下の算式に基づき計算します。

一時所得：総収入－経費－特別控除（50万円）

よって50万円を超える未支給年金を受け取られた場合には、確定申告が必要となりますのでご注意ください。

（2）私的年金の場合

公的年金に上乗せして、個人や企業が任意に加入する年金のことをいい企業年金と個人年金に区分されます。

・企業年金

企業年金とは、企業が従業員の退職後の生活のために原資を拠出して支給する年金のことを言います。企業年金の未支給年金は、年金の対象期間に応じて未支給年金と遺族給付金に区分されます。

未支給年金は、死亡した月までの年金で受給者に支給されていない年金のことをいい、受け取られた遺族の一時所得に該当しますので所得税・住民税の課税対象になります。

一方の遺族給付金は、お亡くなりになられた翌日から保証期間が満了するまでの年金のことを言い遺族が定期金に関する権利（契約により、ある期間定期的に金銭その他の給付を受ける権利）を相続したとして相続税の課税対象となります。

・個人年金

個人年金とは、公的年金や企業年金とは別に個人が任意で民間の保険会社で加入する年金のことを言います。

個人年金の受取期間中にお亡くなりになり年金受給権を取得した場合には、保険料をどなたが負担するかによって課税関係が異なります。被保険者と保険料負担者が被相続人の場合は、相続税の課税対象となり、被保険者と保険料負担者が異なる場合には、贈与税の課税対象となります。

未支給年金は、このように年金の種類に応じて請求先も異なりますので、死亡後の手続きについて残されたご家族の負担軽減のために、ご自身の加入されている年金の種類や請求先などを生前に整理されておくことをお勧めいたします。

税理士　谷丸　幸子

12月の相談日のお知らせ

税務相談　12/10（水）・24（水）
午前10時～午後4時
税理士　谷丸 幸子氏

法律相談　12/25（木）
午後1時～午後4時
弁護士　西澤 真介氏

◆予約制となっていますので、あらかじめ下記までお申し込みください。

資産保全センター　業務委託 高槻コープサービス（株）
高槻市野見町4-1　電話072（672）8138

高槻コープサービス株式会社からのお知らせ

「JAリフォームのご案内」

当社では、組合員皆様のご自宅、所有物件等のリフォームのご依頼をお受けしております。JAグループと契約している大手建築会社との連携により、皆様の安心で快適な暮らしをサポートいたします。現地調査・見積は無料で行っていますので、お気軽にご相談ください。

リフォーム一例

●水回りリフォーム
キッチン・トイレ・浴室　他

●内装リフォーム
玄関・リビング・和室・寝室　他

●外装リフォーム
屋根・外壁・外塀・
エクステリア・カーポート・
耐震補強・バリアフリー　他

詳細は、高槻コープサービス株式会社（072-672-8138）までお問い合わせください。



令和9年度新採用職員募集

令和9年3月卒業予定の方へ

オープンカンパニー開催のお知らせ

「オープンカンパニーJAたかつき」会社説明会を12月より開催します。JAの仕事に興味がある方は、左記の総務人事課へお申し込みください。

【開催日】12月12日(金)
12月19日(金)
12月26日(金)
【開催時間】午後2時～午後3時
【開催場所】JAたかつき本店ビル
【お問い合わせ】
総務部総務人事課(671-5421)まで

住宅ローン休日相談会

毎月第1日曜日・第3土曜日に休日相談会を開催しています。12月の休日相談会は左記のとおりです。

【開催場所】JAたかつき本店ビル
【開催日】12月7日(日)
12月20日(土)
【開催時間】午前9時～午後3時

新規、借り換え等お気軽にご相談ください。また、平日も各支店にて受け付けています。なお、ご案内の休日相談会は都合により変更になる場合があります。

年金個別相談会

左記の日程で社会保険労務士による年金個別相談会を実施します。予約制となっておりますのでお気軽に窓口・渉外担当者にお申し付けください。

年金個別相談会

開催日	1月17日(土)
開催支店	三箇牧支店
電話番号	072-677-1606
時間	10時～15時

※「ねんきん定期便」、「年金請求書」などの年金に関する資料をお持ちください。

JAたかつき皆貯金週間のお知らせ

当JA各支店で、12月8日(月)～12月19日(金)の期間中、日頃のご愛顧に感謝して「皆貯金週間」を実施します。

期間中、窓口に「皆貯金週間」のチラシをお持ちいただき、定期貯金を100万円以上お預け入れいただいた方に真空ステンレスタンブラー350mlを進呈します。

数に限りがありますのでご来店はお早目に!

おたより大募集!

読者のみなさまからのおたより、川柳、絵ハガキ等を募集しています。テーマや形式は自由です。

本誌の感想や要望も左記のふれあい課までお送りください。

【応募方法】

〔Eメール〕
fureaika@takatuki.jaosk.jp
件名は「おたより募集係」

〔ハガキ〕
〒569-0071
高槻市城北町1-15-8
JAたかつき　総務部
ふれあい課

〔FAX〕
072-675-9955



Eメールかハガキ又はFAXで住所・電話番号・氏名(ペンネームまたは匿名での投稿可)・年齢・性別をご記入のうえご応募ください。

基本的に原文のまま掲載しますが、割愛・補足させていただくことがございます。また、お送りいただいたものは、返却いたしませんのでご了承ください。

ふれあい農業塾

果樹栽培講座のご案内

いろんな果樹を植えているが、「実がならない」「剪定の仕方がわからない」「病害虫防除の方法を知りたい」など、お悩みの方も多いのではないでしょうか。

本講座では、果樹の生理をはじめ、肥培管理、病害虫防除、整枝・剪定など初歩技術を3回に分けて学んでいただきます。

主な内容	開催日程
果樹の生理・施肥・病害虫防除	11月29日(土)
家庭果樹の整枝・剪定	12月6日(土)
整枝・剪定の実際(実習)	12月20日(土)

【開催場所】
いずれも午後1時30分～3時
(内容によっては若干延長することがあります。)

総合営農センター内
農業研修センター(高槻市野田)

【講　師】営農指導課職員
【定　員】30名
【受講料】1,500円(3回分)

【お申し込み方法】
郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を記し、Eメールかハガキ、FAXでお申し込みください。

【お問い合わせ】
☎671・1234
営農経済部　営農指導課
(ふれあい農業塾)

〔Eメール〕
einousidouka@takatuki.jaosk.jp
件名は「農業塾申込」

〔ハガキ〕
〒569-0013
高槻市野田四丁目30番10号
JAたかつき総合営農センター
ふれあい農業塾

〔FAX〕
072−671−2110



人事異動(11月1日付)(　)内は旧任

▼総務部企画管理課長兼創立60周年記念事業特命担当(総務部企画管理課長)中西優二▼総務部企画管理課長代理(大冠支店次長)寺本和樹▼大冠支店次長(大塚支店長代理)東谷俊明▼大塚支店長代理(如是支店次長)中村友子▼如是支店次長(島本支店主任)生田瑛里▼島本支店主任(芥川東支店主任)田宮麻衣▼芥川東支店主任(金融共済部共済課)山本みづほ▼阿武野支店(如是支店)穴見由香▼金融共済部共済課(総務部企画管理課)西田拓馬

JAたかつき日誌・10月

1日　令和8年度新採用職員内定式
8日　女性協議会
8日　税務相談
10日　定例支店長会議
15日　法律相談
16日　第3回准組合員モニターミーティング(農業体験)
18日　年金個別相談会(芥川支店)
20日　広報誌「ふれあい」第607号発行
22日　税務相談
22～23日　令和7年度組合員大会
27日　定例企画推進会議
27日　コンプライアンス委員会
27日　ALM(リスク管理)委員会
27日　如是支店　本店ビルで仮店舗営業開始
31日　定例理事会

【付議事項】
①役員賠償責任保険の契約更改について

【報告事項】
①業態報告について
②令和7年度半期決算について
③令和7年度上半期に係る組合員の加入及び脱退の状況について
④令和7年度上半期に係る資産査定結果について
⑤令和7年度第2四半期の余裕金運用状況及び第3四半期の余裕金運用方針について
⑥余裕金運用実績及びリスク情報管理・報告について
⑦令和7年9月度の余裕金運用状況について
⑧令和7年度年金友の会「会員のつどい」の開催計画について
⑨令和7年度JA共済コンプライアンス点検結果について
⑩令和7年度高槻市農林業祭および島本町農林業祭の開催計画について
⑪令和7年度上半期内部監査の結果について
⑫令和7年度上半期に係る不祥事対応状況及び苦情等対応状況の結果について
⑬「反社会的勢力等への対応に関する規程」に基づく対応結果について
⑭「取引実態、並びに、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策の実施状況調査」共済」に係る報告について
⑮令和7年度上半期に係る子会社の経営状況について

わたしたちのJAたかつき
令和7年10月31日現在

■組合員数	正組合員数	2,161人
	准組合員数	12,079人
■出資金		9億9,652万円
■貯金残高		2,895億2,278万円
■貸出金残高		292億6,465万円
■長期共済保有高		3,712億7,208万円
■購買品取扱高		9,899万円
■販売品取扱高		7,216万円



月刊ふれあい／11月号（令和7年11月20日発行）
発行・高槻市農業協同組合
高槻市城北町一丁目十五番八号
発行責任者　森本　茂
電話（〇七二）六七一―五四二一（代表）

JAたかつき

組合員限定

冬とく定期貯金

キャンペーン期間／令和7年11月4日（火）～令和8年1月30日（金）

期間中、JAたかつきでスーパー定期貯金（3年もの 50万円以上 元利金継続型）を新たな資金でお預入れいただいたお客さまに!

なお、満期となる定期貯金額の20%以上増額（普通貯金等からの振替を除く）の場合でも対象とさせていただきます。

使って便利な通帳式定期貯金、および総合口座定期貯金をお勧めしています

スーパー定期 3年もの

年 0.70%

（税引後 年0.557%）

募集総額 200億円

※募集総額に達した場合は、お取扱いを終了させていただく場合がございます。



©よりぞう

組合員加入には、出資金（1,000円）の払込みが必要となります。原則として高槻市および島本町にお住い（お勤め）の個人の方で地域農業の大切さやJA事業についてご理解いただき、一定のお取引をいただいている方に限ります。加入手続きには数日を要しますので、新規に組合員に加入される方はご注意ください。なお、法令・定款等によりご加入いただけない場合がございますのでご了承ください。

犯罪収益移転防止法により、【お取引時確認】をさせていただくことがございます。顔写真のない本人確認書類は2種類提示していただくなどの対応が必要です。詳しくはお近くのJA窓口までお問い合わせください。

●新たな資金で個人の方を対象とさせていただきます。●特別金利は初回満期日までとなります。満期日以降は、店頭表示金利を適用いたします。●利息に対する税金は令和19年12月31日までの間は、税率20.315%（国税15.315%、地方税5%）の分離課税となります。●満期日以前に解約された場合は、所定の中途解約利率を適用いたします。●店頭に商品概要説明書をご用意しております。●当JAホームページ（https://www.ja-takatsuki.or.jp）でもご覧いただけます。

ふれあい・ときめき
たわわなみのり

JAたかつき　https://www.ja-takatsuki.or.jp

本店営業課	☎671-5426	芥川支店	☎683-5821	芝生支店	☎677-1694	総合営農センター	☎676-3279
樫田支店	☎688-9424	芥川東支店	☎682-0056	三箇牧支店	☎677-1606	緑彩館センター店	☎671-1330
清水支店	☎688-0055	五領支店	☎669-3621	唐崎支店	☎678-1331	緑彩館清水店	☎687-1860
原支店	☎689-0778	大冠支店	☎675-0301	阿武野支店	☎694-0268	農風館かしだ店	☎688-9601
真上支店	☎685-0986	大塚支店	☎672-0850	富田支店	☎696-0021	農風館野見町店	☎676-3606
磐手支店	☎685-5876	如是支店	☎696-1888	島本支店	☎075(961)0080	高槻コープサービス㈱	☎672-8138